

報告

平成27年度 事業計画

[本年度の目標]

本学会の公益目的事業の円滑な遂行を図るとともに社会との接点を広げ、学術研究の成果として得られる情報を学会内で学の立場から統合・整理・発展させ、かつ広く社会に発信していく活動を充実させるため、以下の事業を行う。また、東日本大震災の被災地における水産業の復興支援に係る事業を本年度も継続して行うこととする。

1. 役員会・組織運営等に関する事項

(1) 総会

a) 定時社員総会は、定款第13条に基づき、平成27年3月29日に開催する。また、必要がある場合には臨時社員総会を開催する。

(2) 理事会

a) 通常理事会は、定款第29条及び理事会運営規程第2条2項に基づき、7回開催する。また、理事会運営規程第2条3項による臨時理事会は随時開催する。

(3) 支部

a) 北海道支部

支部総会を年1回、支部幹事会を年1回開催する（開催日未定）。

b) 東北支部

支部総会を年1回（平成28年2月予定）、支部幹事会を年2回（平成27年7月、平成28年2月予定）、支部幹事・支部連絡調整員会議を年1回（平成27年11月予定）開催する。

c) 関東支部

支部幹事会を年1回開催する（平成27年6月予定）。

d) 中部支部

支部総会を年1回、支部幹事会を年1回開催する（開催日未定）。

e) 近畿支部

支部幹事会を年2回（平成27年7月11日、12月5日）開催する。

f) 中国・四国支部

支部総会を年1回、支部幹事会を年1回開催する（開催日未定）。

g) 九州支部

支部総会を年1回（平成27年11月～12月予定）、支部幹事会を年1回（平成27年11月～12月予定）開催する。

(4) 委員会

a) 編集委員会

学会誌の編集方針、報文の原稿の書き方、印刷物の体裁、オンライン投稿と審査に関する手続き等及び論文賞候補の推薦に係る必要事項を審議するため、年4回定期的に開催するほか、必要に応じて随時開催する。

b) 企画広報委員会

和文誌に掲載する記事の企画を行うほか、和文誌の編集発行、学会ホームページの運営及び新たな事業の企画と広報に関する業務について審議するため、隔月1回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

c) 学会賞選考委員会

学会賞受賞候補者及び日本農学賞その他の受賞候補者について審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

d) シンポジウム企画委員会

シンポジウムとミニシンポジウムの題目、企画責任者及び水産学シリーズへの刊行の推薦について審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

e) 出版委員会

水産学シリーズの出版企画、水産学シリーズ以外の学術図書の出版企画、出版社との契約事項等を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

f) 水産環境保全委員会

水産環境の保全に関連する諸事項について審議し、理事会の承認を得て行うシンポジウム、講演会の企画・開催等に関連

する業務を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

g) 漁業懇話会委員会

懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

h) 水産利用懇話会委員会

懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年3回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

i) 水産増殖懇話会委員会

懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

j) 国際交流委員会

国際交流に関する諸事項を審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

k) 選挙管理委員会

理事及び監事の候補者の選挙、学会賞選考委員の選挙ならびに役員欠員のための補欠の候補者の選挙に関する審議、業務を行うため、必要に応じて随時開催する。

l) 水産教育推進委員会

水産教育に係る事項について審議し、理事会の承認を得て行う事業を実施するため、年4回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

m) 水産技術誌監修委員会

水産分野の技術者、研究者、事業者等を対象として独立行政法人水産総合研究センターが企画・編集し、定期的に刊行する和文誌「水産技術」について、編集の方針を提示し、編集の監督を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

n) 水産政策委員会

会長あるいは理事会の諮問に対応して各種の提言案を作成し、理事会に答申するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

o) 男女共同参画推進委員会

本学会における男女共同参画に関する諸事項を審議し、関連の業務を行うため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

[公益目的事業1]

研究発表会及び学術講演会・シンポジウムの開催ならびに研究業績の表彰による水産学の学術の発展と科学技術の振興を推進するため、以下の事業を行う。

2. 研究発表会及び学術講演会等の開催による水産学研究の推進事業（定款第4条1項1号に定める事業）

(1) 研究発表会

a) 春季大会：平成27年3月27日（金）～3月31日（火）

於東京海洋大学品川キャンパス（東京都港区）

大会委員長 有元貴文

研究発表 口頭、ポスター

高校生によるポスター発表

シンポジウム 2件、ミニシンポジウム 2件

平成26年度学会賞受賞者講演13題

b) 秋季大会：平成27年9月22日（火）～9月25日（金）

於東北大学川内キャンパス（宮城県仙台市）

大会委員長 佐藤 實

研究発表 口頭、ポスター

シンポジウム、ミニシンポジウムの開催

(2) シンポジウム

春季大会開催時（平成27年3月27日、於東京海洋大学品川キャンパス）

a) 「魚介類内在性プロテアーゼ ―基礎から水産食品加工への応用まで―」

企画責任者：長富 潔・原 研治・岡崎恵美子・大迫一史・今野久仁彦・桑原浩一

b) 「魚類行動生理学の基礎と水産研究への応用」

企画責任者：棟方有宗・安藤宏徳・小林牧人

秋季大会開催時（平成27年9月22日，25日，於東北大学川内キャンパス）

- a) 「東日本大震災からの復興・再生に向けた新たな水産業の創成につながる新技術開発」
企画責任者：竹内俊郎・佐藤 實・渡部終五

(3) ミニシンポジウム

春季大会開催時（平成27年3月31日，於東京海洋大学品川キャンパス）

- a) 「若手が拓く水産学研究：国際舞台で活躍する若手研究者たち」（共催 水産学若手の会）
企画責任者：横内一樹・海部健三・細谷 将
- b) 「調査捕鯨と国際司法裁判所（ICJ）判決」（共催 水産政策委員会）
企画責任者：八木信行・加藤秀弘・北門利英

秋季大会開催時（平成27年9月22日，25日，於東北大学川内キャンパス）

数件を開催予定

(4) 各支部が行う研究発表会及び講演会

a) 北海道支部

- ①支部大会の開催（シンポジウム，一般講演・若手の会企画講演会，開催日未定）

b) 東北支部

- ①支部大会の開催（シンポジウム，平成27年11月予定）
②支部例会の開催（平成28年2月予定）

c) 関東支部

- ①支部大会の開催（シンポジウム，平成27年10月予定）

d) 中部支部

- ①支部大会の開催（研究発表，ポスター発表，開催日未定，於東海大学）

e) 近畿支部

- ①支部前期例会の開催（シンポジウム，研究発表，平成27年7月11日，於京都大学農学部）
②支部後期例会の開催（シンポジウム，研究発表，平成27年12月5日，於京都大学農学部）

f) 中国・四国支部

- ①支部例会の開催（開催日未定）

g) 九州支部

- ①支部大会の開催（一般講演，高校生による研究発表，公開シンポジウム，若手の会セミナー，平成27年11月～12月予定）

(5) 各委員会が行う研究発表会及び講演会

a) 理事会

- ①特別シンポジウム「東北の海は今，震災後4年間の研究成果と漁業復興（仮称）」の開催
（平成27年9月21日，於東北大学さくらホール）

b) 企画広報委員会

- ①水産に関する勉強会の開催（開催日未定）

c) 水産環境保全委員会

- ①シンポジウム「炭素・窒素同位体比でひも解く水産生物をとりまく環境の複雑さ」の開催
（平成27年3月27日，於東京海洋大学品川キャンパス）
②研究会の開催（平成27年度日本水産学会秋季大会時，於東北大学川内キャンパス）
③沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウムの開催（開催日未定）

d) 漁業懇話会委員会

- ①第65回講演会「沿岸域における漁船漁業ビジネスモデル研究」の開催（平成27年3月27日，於東京大学品川キャンパス）
②第66回講演会の開催（平成27年9月22日，於東北大学川内キャンパス）
③漁業懇話会報の発行

e) 水産利用懇話会委員会

- ①平成27年度第1回講演会の開催（平成27年10月予定）
②平成27年度第2回講演会の開催（平成28年2月予定）

f) 水産増殖懇話会委員会

- ①平成27年度第1回講演会「最新の技術を利用した水産育種」の開催
（平成27年3月27日，於東京海洋大学品川キャンパス）
②平成27年度第2回講演会の開催（平成27年9月予定，於東北大学川内キャンパス）

g) 国際交流委員会

①第3回日中韓水産学会合同シンポジウムの開催（平成27年9月25日，宮城県仙台市）

h) 水産教育推進委員会

①ミニシンポジウム「初等中等教育における水産を考える」の開催（平成27年3月31日，於東京海洋大学品川キャンパス）

i) その他

3. 関連学会等との連携及び協力ならびに社会連携の推進事業（定款第4条1項3号に定める事業）

(1) 関連学会等との連携及び協力

a) 第52回アイソトープ・放射線研究発表会の共催

主催 日本アイソトープ協会，共催 応用物理学会 他62学協会
平成27年7月8日～10日，於東京大学弥生講堂（東京都文京区）

b) 第17回マリンバイオテクノロジー学会大会の協賛

主催 マリンバイオテクノロジー学会，協賛 日本化学会 他26学協会
平成27年5月30日・31日，於東京海洋大学品川キャンパス（東京都港区）

c) その他，関連学会等が主催する講演会等の共催，協賛，後援

(2) 日本学術会議が行う事業への協力

(3) 日本農学会が行う事業への協力

(4) (公財)農学会が行う事業への協力

a) 技術者教育推進委員会委員の派遣

(5) 水産・海洋科学研究連絡協議会への参加及び代表の派遣

(6) 海外との学術交流等

a) 日本水産学会創立85周年記念国際シンポジウム（仮称）に係る事業

b) 第145回アメリカ水産学会大会（2015年8月16日～20日，アメリカ・ポートランド）への代表者及び委員の派遣

c) イギリス諸島水産学会（2015年7月27日～31日，イギリス・プリマス）への代表者の派遣

d) 第3回日中韓水産学会合同シンポジウム（2015年9月，宮城県仙台市）の開催及び講演者の招聘

e) 韓国水産科学学会大会（2015年11月）への代表者，委員及び招待講演者の派遣

f) 中国水産学会大会への代表者，委員及び招待講演者の派遣

g) アメリカ水産学会，イギリス諸島水産学会，韓国水産科学学会及び中国水産学会との学術雑誌の交換

h) 国際交流懇談会の開催（2015年3月予定）

i) アジア水産学会大会及び評議員会への評議員の派遣

j) 世界水産学協議会（WCFS）との連携

①理事会及び非公式会議（2015年8月，アメリカ・ポートランド）への代表者及び委員の派遣

②第7回世界水産学会議（2016年5月23日～28日，韓国・釜山）の準備の協力

③東日本大震災関連情報の発信

k) FAO, PICESとの連携

1) JICA, 若手会員に対するインターンシップ，海外水産関係大会の参加等水産教育プログラムの推進

①第2回国際水産教育シンポジウム（2015年4月22日～24日，中国・上海）へ委員の派遣

m) その他，文献交換の斡旋，外国人研究者との交流等海外との学術交流に関する事業

(7) ベルソープックス刊行への協力

(8) 水産技術誌の監修

a) 水産分野の技術者，研究者，事業者等を対象として独立行政法人水産総合研究センターが企画・編集し，定期的に刊行する和文誌「水産技術」を監修する。

(9) 第34回「海とさかな」自由研究・作品コンクールへの協力

a) 小学生を対象とした，朝日学生新聞社主催の海と魚をテーマとした作品コンクールにおいて，募集ポスターやガイドブックの配付，出張講義の講師派遣及び審査員派遣等の協力を行う。

(10) 東日本大震災災害復興支援に関する活動

a) 東日本大震災災害復興支援検討特別委員会での審議に基づく活動を行う。

(11) 男女共同参画の推進

a) 男女共同参画学協会連絡会主催シンポジウムへの出席及びポスター展示

b) 東京海洋大学女性研究者支援機構によるシンポジウム等への協力

(12) その他

4. 研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業（定款第4条1項4号に定める事業）

(1) 日本水産学会における賞の授与

学会賞授賞規程に基づき、以下の賞を授与する。

- a) 日本水産学会賞
- b) 日本水産学会功績賞
- c) 水産学進歩賞
- d) 水産学奨励賞
- e) 水産学技術賞

(2) 日本水産学会論文賞の授与

論文賞授賞規程に基づき、日本水産学会論文賞を授与する。

- (3) 各支部・委員会等における表彰
- (4) 「海とさかな」自由研究・作品コンクールにおける日本水産学会会長賞の授与
- (5) 他の学術関係の賞等に対する候補者の推薦

[公益目的事業2]

水産学に関する学会誌及び学術図書の刊行ならびにインターネットによる情報提供を通じて、水産学研究の科学技術成果の普及を行うため、以下の事業を行う。

5. 学会誌及び学術図書の刊行による水産学研究の普及事業（定款第4条1項2号に定める事業）

(1) 学会誌の刊行

- a) 日本水産学会誌第81巻2号～第82巻1号まで計6冊 [報文65編，総説，企画記事，会告，会報等総ページ約1,300ページ（各号4,300部刊行予定）]
- b) Fisheries Science 第81巻2号～第82巻1号まで計6冊 [報文120編，総説等総ページ約1,400ページ（各号450部刊行予定）]

(2) 水産学シリーズの刊行

- a) 第181号「ハタ科魚類における繁殖の生理生態と種苗生産」征矢野 清編，平成27年3月下旬，300部刊行予定
- b) 第182号「魚類の初期生活史研究の最前線（仮題）」望岡典隆編，平成27年9月下旬，300部刊行予定

(3) 英文書籍 Fisheries Science Series の刊行

(4) 日本水産学会誌のJ-STAGE 上における公開